

深川高等学校 令和5年度 教科 公民 科目 政治・経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～8組

教科担当者：（1組～8組： ）

使用教科書：（高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社））

使用教材：（新版 最新政治・経済資料集（第一学習社））

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<p>授業ガイダンス 基礎知識確認</p> <p>政治と法の機能</p> <p>人権保障と法の支配、憲法</p> <p>議会制民主主義と世界の政治体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の学びの方針を理解するとともに、現在の自己の基礎知識を確認する。 現代社会における政治の働きと立憲主義、法の役割について興味関心を持ち、理解する。 社会契約の考え方や法の支配の原理、憲法の内容についてその意義を理解し、人権保障の現状とその内容について理解する。 民主主義の拡大とその形態を議院内閣制と大統領制を中心としてそれぞれの特徴を理解する。 	<p>〔評価の観点〕政治・経済に関する基礎的な知識を獲得できたか。また、政治・経済の諸課題を考察する際に、自己と異なる考えを理解し、その解決について他者と協働しているか。</p> <p>〔評価方法〕出席状況、授業への取り組み（グループ学習への参加、発問に答えようとする姿勢、課題への取り組みなど）、確認テストや課題提出状況、定期考査の得点を数値化して、総合的な評価を行う。</p>	8
5月	<p>日本国憲法の基本原理</p> <p>・平和主義と自衛隊</p> <p>定期考査</p> <p>・基本的人権の保障と新しい人権</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立や国民主権の意義、基本的人権の尊重や平和主義について理解する。 憲法改正手続きについて理解する。 日本国憲法の徹底した平和主義と国際協調主義を柱に、日本の防衛政策の原則について理解する。 安全保障条約と自衛隊や在日米軍基地の現状と課題について考察する。 日本国憲法が、基本的人権をどのように規定しているのか理解する。 「新しい人権」とはどのような権利化、また、どのような社会的背景の中で主張されてきたものなのか理解する。 	<p>〔評価の観点〕政治・経済に関する基礎的な知識を獲得できたか。また、政治・経済の諸課題を考察する際に、自己と異なる考えを理解し、その解決について他者と協働しているか。</p> <p>〔評価方法〕出席状況、授業への取り組み（グループ学習への参加、発問に答えようとする姿勢、課題への取り組みなど）、確認テストや課題提出状況、定期考査の得点を数値化して、総合的な評価を行う。</p>	8
6月	<p>・国会の組織と立法</p> <p>・内閣の機構と行政</p> <p>裁判所の機能と司法制度</p> <p>・政党政治と選挙制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国会の地位と構成、および国家の権限について憲法の規定に基づいて理解する 議院内閣制とはどのような制度、日本国憲法の規定に則して理解する。 行政国家と官僚制の弊害から、行政の民主化が求められていることを理解する。 裁判所の機能について、司法権の独立や裁判の制度について理解する。 裁判員制度について理解する。 政党の役割、政党政治の変遷、選挙制度の意義と特徴を理解するとともに、その現実の課題を考察する。 	<p>〔評価の観点〕政治・経済に関する基礎的な知識を獲得できたか。また、政治・経済の諸課題を考察する際に、自己と異なる考えを理解し、その解決について他者と協働しているか。</p> <p>〔評価方法〕出席状況、授業への取り組み（グループ学習への参加、発問に答えようとする姿勢、課題への取り組みなど）、確認テストや課題提出状況、定期考査の得点を数値化して、総合的な評価を行う。</p>	10

7月	<p>定期考査</p> <p>民主政治における世論の役割</p>	<p>・世論の役割とその形成に大きな役割を果たすマス・メディア、ニューメディアの現状とあり方を考察する。また国民の政治参加における意識の重要性についても考察する。</p>		3
8月				
9月	<p>・経済社会の発展</p> <p>経済主体と経済活動</p> <p>市場経済の機能と限界</p> <p>・経済成長と景気変動</p> <p>物価の動き</p>	<p>・資本主義経済の特質について理解させる。 ・資本主義の発展とスミス、ケインズ、マルクスなどの経済思想とその背景を理解させる。</p> <p>・経済の3主体の役割と責任、企業の分類とその内容を特に株式会社のしくみを中心に理解する。</p> <p>・市場経済のしくみを理解し、その弊害と政府の役割を考察する。</p> <p>・国民所得と景気変動についてその基本概念としくみを理解する。</p> <p>・インフレ、デフレとその影響、物価安定の施策について理解する。</p>	<p>〔評価の観点〕政治・経済に関する基礎的な知識を獲得できたか。また、政治・経済の諸課題を考察する際に、自己と異なる考えを理解し、その解決について他者と協働しているか。</p> <p>〔評価方法〕出席状況、授業への取り組み（グループ学習への参加、発問に答えようとする姿勢、課題への取り組みなど）、確認テストや課題提出状況、定期考査の得点を数値化して、総合的な評価を行う。</p>	12
10月	<p>・物価の動き</p> <p>財政のしくみとはたらき</p> <p>定期考査</p> <p>金融のしくみとはたらき</p>	<p>・インフレ、デフレとその影響、物価安定の施策について理解する。</p> <p>・財政の果たすべき役割とその問題、租税の種類と意義について理解する。</p> <p>・金融のはたらきと銀行の役割、金融政策の基本事項を理解する。</p>	<p>〔評価の観点〕政治・経済に関する基礎的な知識を獲得できたか。また、政治・経済の諸課題を考察する際に、自己と異なる考えを理解し、その解決について他者と協働しているか。</p> <p>〔評価方法〕出席状況、授業への取り組み（グループ学習への参加、発問に答えようとする姿勢、課題への取り組みなど）、確認テストや課題提出状況、定期考査の得点を数値化して、総合的な評価を行う。</p>	10
	<p>農業の現状と課題</p>	<p>・日本の農業問題の課題について考察する。</p>	<p>〔評価の観点〕政治・経済に関する基礎的な知識を獲得できたか。また、政治・経済の諸課題を考察する際に、自己と異なる考えを理解し、その解決について他者と協働しているか。</p>	7

11月	<p>消費者問題</p> <p>労働問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な消費者問題と現在の保護政策について理解する。 ・労働問題の歴史、現在の日本の法整備と課題について理解し、解決策を考察する。 	<p>〔評価方法〕出席状況、授業への取り組み（グループ学習への参加、発問に答えようとする姿勢、課題への取り組みなど）、確認テストや課題提出状況、定期考査の得点を数値化して、総合的な評価を行う。</p>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障 <p>定期考査</p> <p>年間の出来事の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会保障政策の成り立ちやその課題について理解する。 	<p>〔評価の観点〕政治・経済に関する基礎的な知識を獲得できたか。また、政治・経済の諸課題を考察する際に、自己と異なる考えを理解し、その解決について他者と協働しているか。</p> <p>〔評価方法〕出席状況、授業への取り組み（グループ学習への参加、発問に答えようとする姿勢、課題への取り組みなど）、確認テストや課題提出状況、定期考査の得点を数値化して、総合的な評価を行う。</p>	10
1月	<p>政治・経済のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の学習を総括し、社会人基礎力の定着度を確認する。 		2
2月				
3月				計 70